



# 平成30年度国立市市民表彰 社会福祉功労 国立市傾聴ボランティアみみずく

## ～傾聴があらゆる場面で浸透してほしい～



### ●国立市傾聴ボランティアみみずくの活動の起源について教えてください。

平成20年6月、国立市ボランティアセンター開催の「傾聴ボランティア養成講座」を受講した17名で、10月に、国立市傾聴ボランティアみみずくを発足しました。

11月より、あおやぎ苑と国立北高齢者在宅センターで傾聴活動開始し、現在に至ります。

### ●会の構成人数はどのくらいですか。

28名です。



### ●会の具体的な活動内容について教えてください。

国立市内高齢者施設9か所、個人宅7か所を訪問しています。

施設は1人で訪問し、施設職員の紹介した利用者と会話をします。個人宅は、あらかじめ申し込みのあったお宅に2人で訪問します。どちらも、1件につき、1時間くらい行きます。

月1度(第4金曜日)に、福祉会館1階コーナーにて、「傾聴ひろば」を開催しています。毎月1回の定例会開催し、活動での反省や課題について協議し、翌月訪問の日程について調整などを行います。

### ●活動の中で印象的に残っている出来事を教えてください。

個人活動なので、各人の感想になりますが、

- ・毎回の訪問を心待ちにしてくださっていることが嬉しい。
- ・傾聴後の表情がとても明るくなっていることが、私たちの励みになる。
- ・長年心にしまっていたつらい思い出を、涙ながらに語っていただけたことが印象的でした。
- ・施設で傾聴ボランティア訪問の意図が入所者に伝わらず、市役所の調査と間違われたことが少し残念だった。

### ●会としての今後の課題ありますか。

メンバー自身の病気や家族の介護などで会員が減少していることです。会員の減少で、依頼者の要望に応えられていないことが増えてきました。例えば、毎週希望している方が、月1度の訪問になってしまうなど。

そのほか、「傾聴ひろば」の知名度が低いため、応募者が少ないことも挙げられます。



### ●最後に一言お願いします。

心配事や愚痴など気軽に語りたいたいという気持ちは誰にでもあると思います。傾聴は、傾聴という技術を使った話し方ですが、家庭、職場、サークルなどあらゆる場面で普及し、活用されるのが望ましいと思います。「傾聴ひろば」には、働いている人や子育て中の方などもっと様々な方にいらしていただきたいと思っています。